



株式会社ニデック 環境報告書 2016

NIDEK Environmental Report 2016





目次

環境経営の推進にあたり・方針

環境経営責任者からのメッセージ	2
環境方針	3
環境管理推進組織図	4

環境活動

2015年度環境保全活動の目標と実績	5
2016年度環境保全活動の目的・目標と設定	6
工場の環境負荷概要	7-9
2015年度環境パフォーマンス	
CO ₂ 排出量 (参考:浜町・大沢工場太陽光発電実績)	10
廃棄物量／PRTR法対象化学物質使用量	11
環境調和型製品のご紹介	12-13
エネルギー／資源消費量・廃棄物排出量の推移	
電力／重油	14
市水／最終廃棄物	15

社会活動・企業情報

CSRに関する取り組み	16-17
企業概要	18
工場概要	19
報告書基本情報／お問い合わせ先	20

企業活動において、環境負荷を低減させる取組みを進めています



当社は省エネルギーや省資源など、企業活動において環境負荷を低減させる取組みを進めています。

電力消費量や廃棄物排出量の削減、環境調和製品の開発・製造をおこない、人と環境の調和のとれた社会の構築に貢献しております。

これからも環境活動はもちろんのこと、積極的によりよい社会に向けて働きかける存在として、さらなる努力を続けてまいります。

現在は環境活動の報告として本報告書をまとめておりますが、今後、活動を拡張してより高次の報告ができるよう、活動の充実を図る所存です。

本報告と当社のウェブサイトを通じて、当社の取組みについてご理解いただければ幸いです。

2016年7月15日

環境経営責任者
常務取締役
管理本部 本部長

手塚 勉

当社は、Eye & Health Care の担い手として医療機器等の製造、販売及びサービス活動を展開している。企業の社会的責任と地球及び地域環境保全の重要性を認識し、循環型社会形成に寄与する改善活動を継続的に行なうものとする。

1. 事業活動に伴う環境側面が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的、及び目標を定め、全社員で取り組み、環境負荷の低減及び地球温暖化防止を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。環境目的及び目標は定期的に見直し、必要に応じて改定する。
2. 環境に係わる法律、規制、条例等を順守し、利害関係者の意見を尊重する。
3. 事業活動、製品の製造及びサービスが環境に与える影響を考慮し、特に次の事項について重点的に環境保全活動を推進する。
 - (1) 製品の環境調和
主力製品から、有害物質の排除を促進するとともに、グリーン調達を推進する。
 - (2) 省エネルギー
エネルギー消費の少ない製品設計及び生産プロセスの導入等により省エネルギーを推進する。
 - (3) 廃棄物削減・省資源
資源の有効利用を図るとともに、本来の「ゼロエミッション」を推進して廃棄物等の総排出量の削減を図る。
 - (4) 環境社会貢献
CSRの観点から、環境情報の公開と、地域・社会とのコミュニケーションを通じて、環境保全に貢献する。
 - (5) 化学物質の適正管理
大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等の防止に努めるとともに、人の健康及び生物との共存の観点から化学物質の適正な管理を推進する。
4. 環境教育、社内広報活動等により全社員の環境方針の理解及び環境保全に対する意識の向上を図る。また、関連会社に対し理解と協力を求める。

この環境方針は、社外に対して公開する。

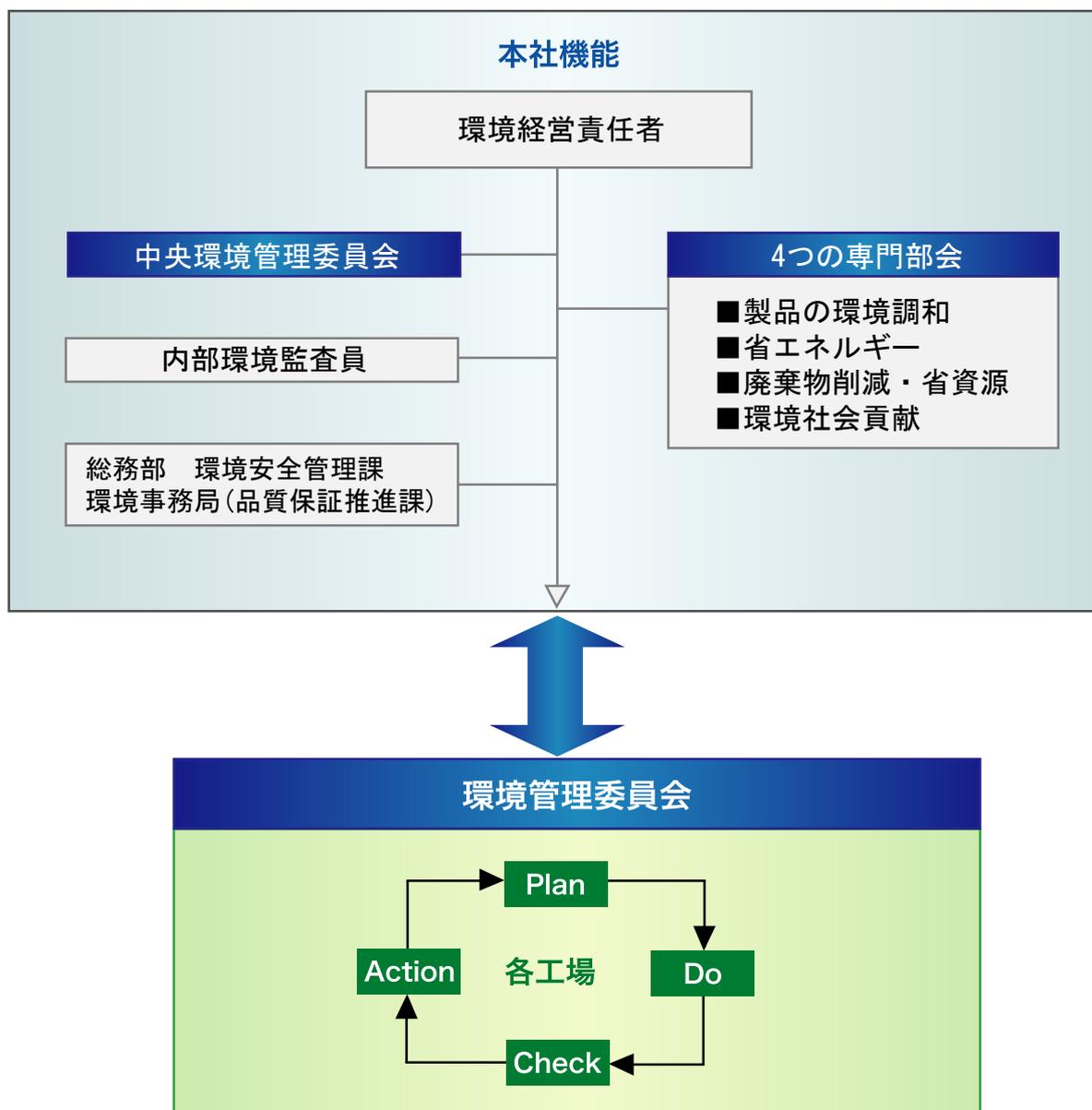
2015年7月1日

株式会社ニデック
環境経営責任者

手塚 勉

第12版

当社では、環境経営責任者の下に、中央環境管理委員会と4つの専門部会を設置しています。また、各工場に環境管理委員会を置き、工場ごとに改善点を見出し、改善に向けたPDCAサイクルをまわしています。工場ごとの活動を中央環境管理委員会に報告し共有することで、全社をあげた改善を続けています。



2015年度環境保全活動の目標と実績

2015年度の環境保全活動の目標と活動実績のまとめは、次のとおりです。

	2015年度の目標	目標達成状況	活動実績
製品の環境調和	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境法規制のレビュー及び必要な措置の実施 ▶ 新製品を中心としたエコ設計の推進 ▶ EU:REACH規制、RoHS指令(カテゴリー8中心)への対応 	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 海外 210件、国内 537件 / 計 747件 (昨年 762件) ▶ 製品アセスメントを新製品9機種で実施(前年と同数) ※3年間の新製品27機種、全て実施 ▶ 海外製造委託先3社のRoHS監査等を実施(台湾:MiiS・岩間、中国:光南) ※3年間の実績は、適合宣言書の入手、サンプルのRoHS分析、取引先のRoHS監査を三点セットとした仕組みの構築と、対象41機種について全て適合宣言書を発行
省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上比原単位電力消費量の削減(2012年度比、3%削減) 	目標達成 106.0%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大沢工場・東浜工場の蒸着機器付帯設備の省エネ化(DP-ECO設置) H25～H27年度 : 60kL/年(原油換算*) ▶ 大沢工場・東浜工場・鶴ヶ浜工場第1棟の省エネ設置(チラーの入替) H26～H31年度 : 40kL/年(原油換算*) *原油換算:電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや熱量を共通の単位を用いて合計・比較するために、原油の単位量あたりの発熱量を用いて、原油の量(kL・L、キロリットルやリットル)に換算することを原油換算という ▶ その他、東浜工場の蒸着機器付帯設備の省エネ化(TMP化)、大沢工場・東浜工場の蒸着機器付帯設備の省エネ化(MBPインバーター化)、全社工場のVベルトの省エネタイプ切り替えなどを実施 ▶ 2015年度の電力消費量状況 2014年度に対して増加:拾石工場(103%)、浜町工場(108%)、鶴ヶ浜工場(113%) 2014年度に対して減少:東浜工場(81%)、大沢工場(74%) ▶ 中部電力の企業向け省エネ診断を継続実施 ▶ 設備導入計画より、省エネ関係の抽出と省エネ設備更新の推進
廃棄物削減・省資源	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上比原単位廃棄物排出量の削減(2012年度比、10%削減) 	目標未達成 86.6%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 目標未達成要因:前年度に比べて廃棄物の総排出量を86.3%まで削減できているが、3年連続で目標未達成 主原因は、拾石工場第7棟の稼働(2013年度から)と増産に伴うものであり、工程廃液/特管物(IPA・アセトン)等が大幅に増加。また、これを是正するための対策も立てているが、実際には技術的(製品品質・工程品質等)な検討が必要なため、改善策を継続 ▶ 廃棄物総排出量: 517.4t/年間(前年度:599.6t) ▶ 最終廃棄物: 1.6t/年間(前年度: 2.0t)
環境社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境報告書の維持、管理(2004年度版より) ▶ エコキャップ回収継続(2009/03より) ▶ 地域クリーンキャンペーンへの参加 	エコキャップ回収のみ 目標未達成(83.9%)* *努力目標	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境報告書の維持、管理:2015/07/24、2015年度版を当社HPに掲載済 ▶ エコキャップ回収量:201,326個(目標24万個以上) ポリオワクチン提供人数 234人分以上、累計 1,658人分以上 ▶ 地域クリーンキャンペーンへの参加: 春・秋のクリーンキャンペーンに参加
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 具体的な目的・目標は、各工場または主管部門、部署(職場)、グループにて設定する ※法的要求事項及びその他の要求事項並びに技術上の選択肢、財務上、運用上、事業場の要求事項、利害関係者の見解も考慮する 	—	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各工場または主管部門、部署(職場)、グループの目標につき、省略
工場側面の低減	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 具体的な目的・目標は、各工場または主管部門、部署(職場)、グループにて設定する ※法的要求事項及びその他の要求事項並びに技術上の選択肢、財務上、運用上、事業場の要求事項、利害関係者の見解も考慮する 	—	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各工場または主管部門、部署(職場)、グループの目標につき、省略

2016年度環境保全活動の目的・目標

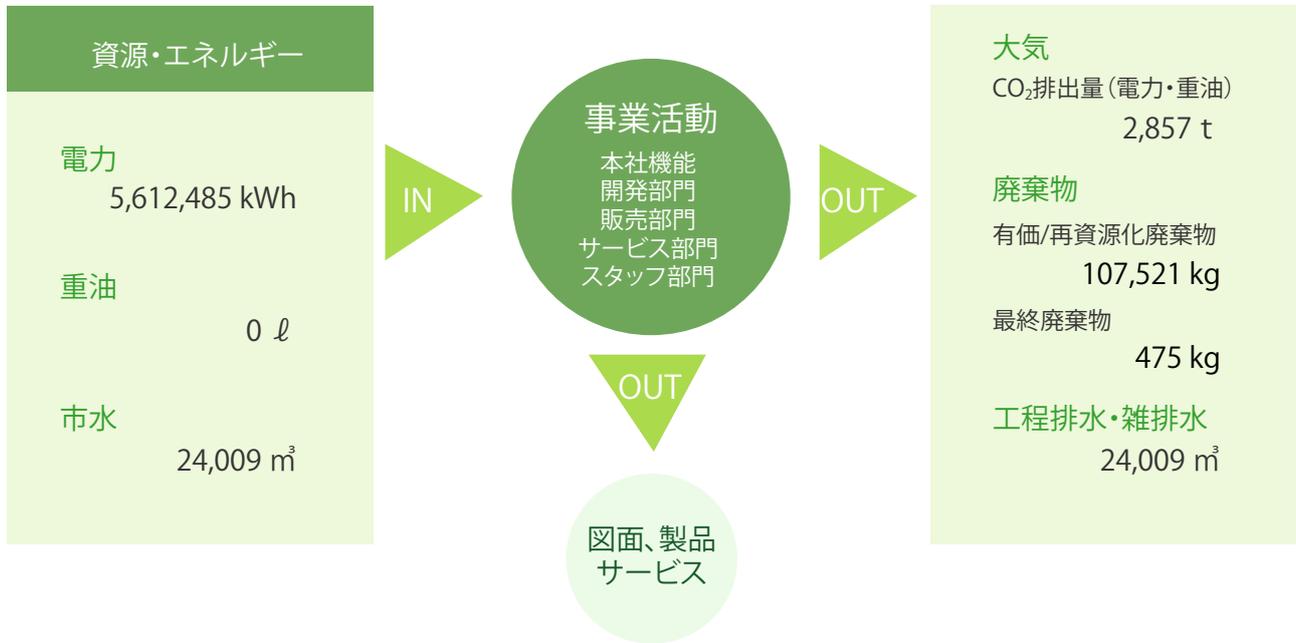
2016年度は、環境保全活動をさらに進めるため、特に削減率の引き上げを中心として目標を見直し、活動を推進します。エコ設計については、製品単位での活動範囲を広げられるよう推進します。

	2016年度の目的	2016年度の目標
製品の環境調和	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境法規制レビュー及び必要な措置の実施 ▶ エコ設計(環境配慮設計)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境法規制レビュー及び必要な措置の実施 ▶ 新製品を中心としたエコ設計の推進 ▶ EU: REACH 規則、RoHS II 指令(カテゴリー8)への対応
省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 省エネルギーの推進にて、CO₂の排出を減少することにより、環境保全、生態系の保護に配慮した事業活動を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上比原単位電力消費量の削減(2015年度比、1%削減)
廃棄物削減・省資源	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 原単位廃棄物排出量の削減(2016年度は、2015年度比3%削減) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上比原単位廃棄物排出量の削減(2015年度比3%削減)
環境社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ▶ CSRの観点から、環境情報の公開と地域・社会とのコミュニケーションを通じて、環境保全に貢献する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境報告書の維持、管理 ▶ エコキャップ回収継続(24万個/年間) ▶ 使用済み切手回収の全社展開(1.2kg/年間) ▶ 地域クリーンキャンペーンへの参加
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自主的な化学物質の管理の改善を促進し、人の健康及び生物との共存を目的として、化学物質の使用量の削減、品種の削減及びより環境リスクの低い代替品の使用を検討・推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 具体的な目的・目標は各工場または主管部門、部署(職場)、グループにて設定する * 法的要求事項及びその他の要求事項並びに技術上の選択肢、財務上、運用上、事業場の要求事項、利害関係者の見解も考慮する
工場の著しい環境側面の低減	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工場の環境影響評価より、環境に著しい影響を与える可能性のある側面(著しい環境側面)の低減に継続的に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂の排出削減 ・コピー用紙の削減 ・騒音・振動の抑制 ・工場排水の管理等 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 具体的な目的・目標は各工場または主管部門、部署(職場)、グループにて設定する * 法的要求事項及びその他の要求事項並びに技術上の選択肢、財務上、運用上、事業場の要求事項、利害関係者の見解も考慮する

工場の環境負荷概要

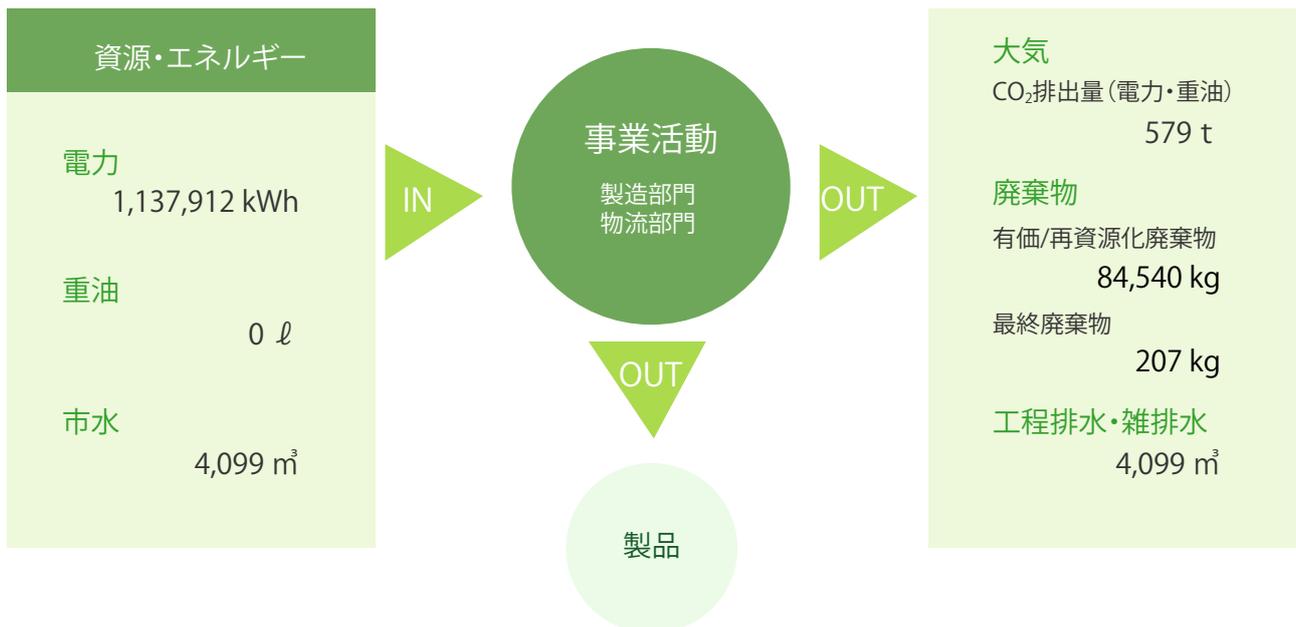
本社(拾石工場) 第7棟を含む

会社運営における本社機能を中心に、開発部門、一部の製造部門、販売部門、サービス部門、スタッフ部門が業務を展開しています。



浜町工場

製品の部品購入、組立、部品や製品の検査、および物流の専門工場です。太陽光発電設備を備えています。

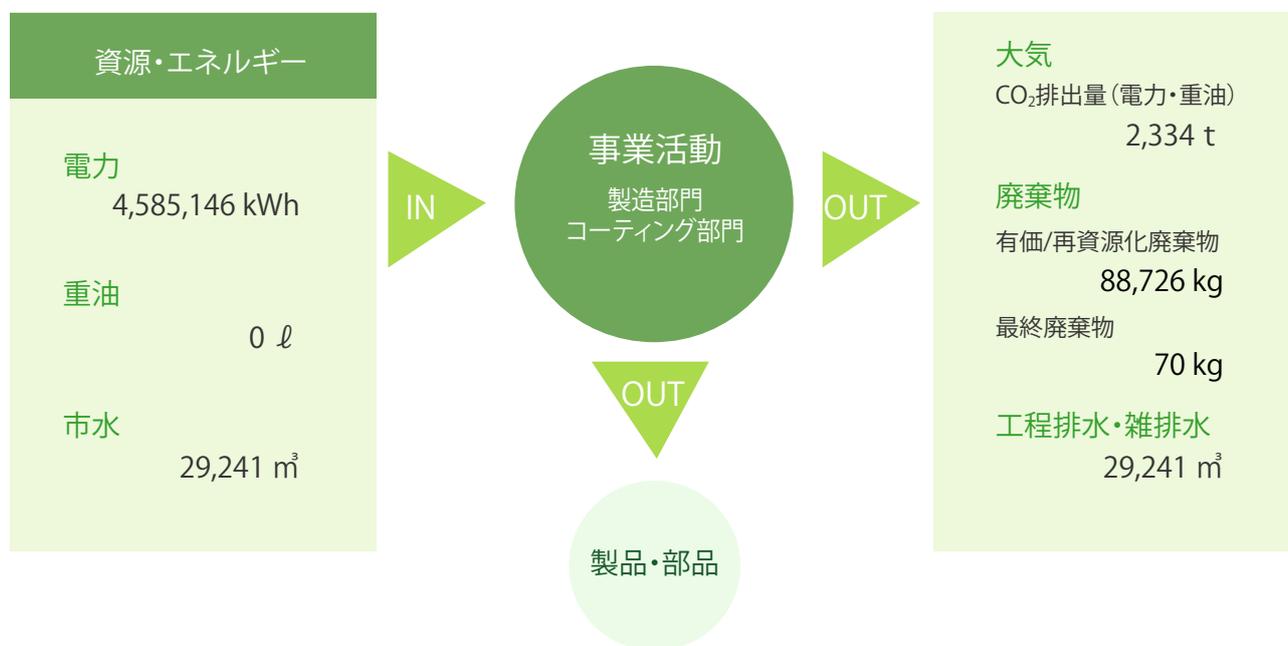


電気調整後排出係数 0.000509 (t-CO₂/kWh)
A重油排出量算定係数 2.71 (t-CO₂/kℓ)

工場の環境負荷概要

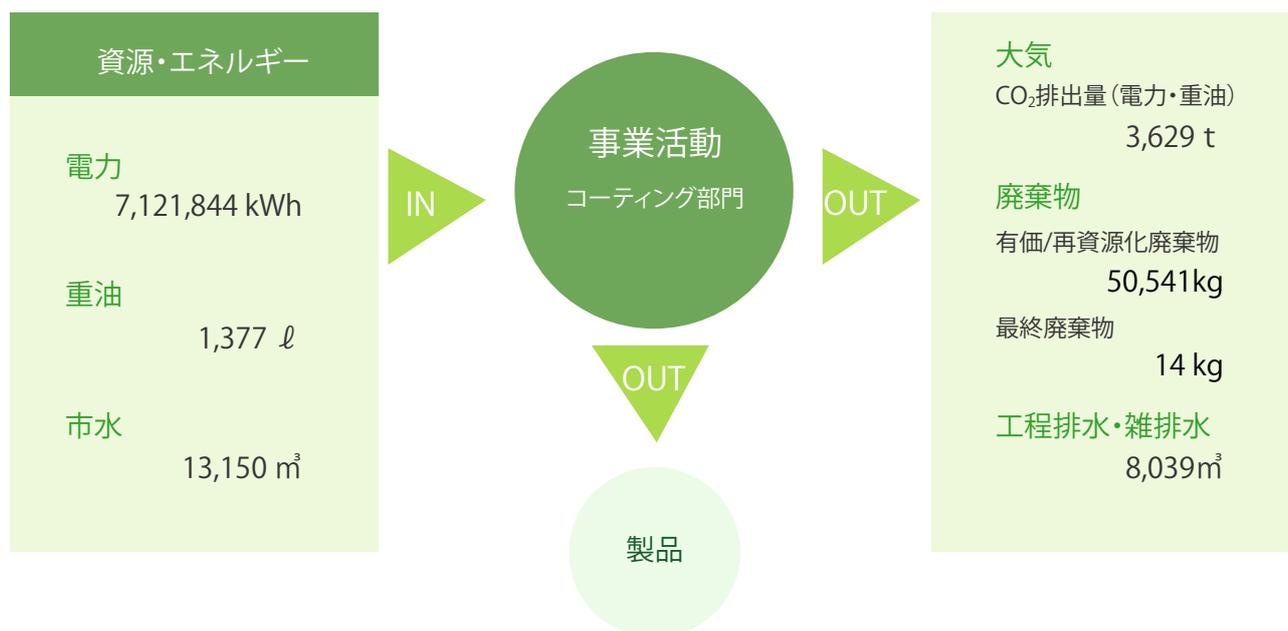
鶴ヶ浜工場

光学部品など製品内で使用する部品の製造や、眼鏡レンズへのコーティングをおこなう工場です。



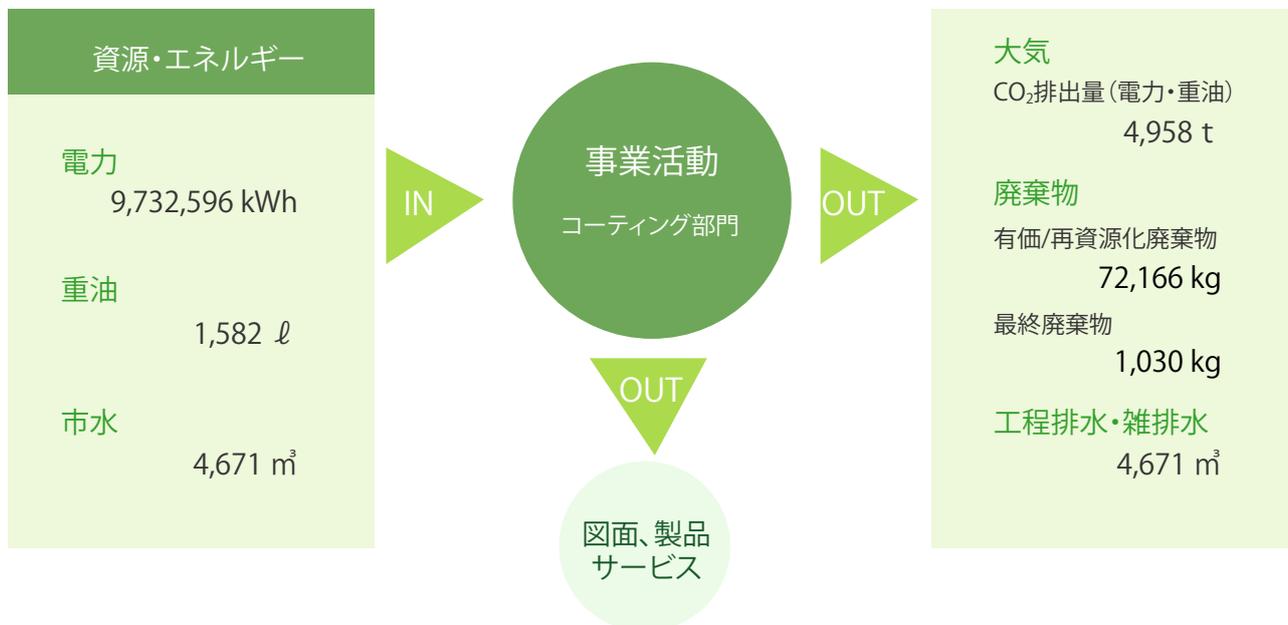
東浜工場

光学フィルターなどのコーティング工場として操業しています。



大沢工場

光学部品やディスプレイのフィルムなどの、反射防止膜をはじめとするさまざまなコーティングをおこなう工場です。また、太陽光発電設備を備えています。



待機時消費電力を減らしましょう！

夜、照明を消してさあ寝ようというとき、テレビやVTRからかすかな光が出ていることはありませんか？
このように、機器を使っていないのに消費される電力を「待機時消費電力」といいます。

なぜ待機時消費電力が生じるの？

主電源を切らない限り、機器の本体がリモコンからの操作信号をいつ受けてもいいように、指示待ち状態を保っているからです。
また、マイコンやメモリー、時計、液晶表示装置などが内蔵され、コンセントにプラグを差し込んであるだけで電力を消費してしまう電気製品も多くあります。

プラグ OFF



電気が流れていない

プラグ ON



電気が流れている

機能維持で電力消費

メモリー・内蔵時計・モニター表示

指示待ち状態で電力消費

リモコンによる指示待ち

接続しているだけで電力消費

機能によっては、プラグを接続するだけで電力を消費するものもある

待機時消費電力を減らすには

①コンセントからプラグを抜く

まずはこまめに主電源を切り、長期間使わない機器は**プラグを抜く**習慣を付けましょう。
毎回プラグを抜くのが面倒なら、「スイッチ付タップ」を使ってスイッチを切るようにすれば簡単です。



②オートOFF機能や表示OFF機能を使う

一定時間使用しないと自動的に電源が切れる**オートOFF機能**がついた機器も増えています。ビデオデッキなどで設定が無効になってしまうため**プラグを抜きたくない場合は、表示OFF機能**を使えば省エネになります。電源を切った時に、時刻などの表示部分を非表示にする機能です。



CO₂排出量(電力及び燃料)

●使用資源・エネルギー別の排出量

各資源/エネルギーの使用量をCO₂に換算した場合、電力によるCO₂排出が大半であることが読み取れます。当社では、日頃から電力の節約に全社的に力を入れております。



電力

14,348.70 t
(全体の98.1%)



A重油

8.02 t



ガソリン

238.95 t



軽油

27.17 t

総計 14,622.84 t
前年比 86.9%

*2013年度から、社用車のガソリン・軽油使用量も報告に含めます(5工場+蒲郡支店)



太陽光発電の導入

当社は、燃料を使用したCO₂の排出量を削減するため、2009年3月から浜町工場と、2013年2月から大沢工場の屋上に、また2014年から拾石工場第7棟に太陽光発電システムを導入しました。太陽光発電による電力は、浜町工場の電力の一部として利用しています。

2015年度の月別の発電量(*)実績は、日照量に応じて変動はありますが、年間約1,010,073kWhの電力を発電しています。

*パワーコンディショナー出力電力量

太陽光による発電により、どのくらいCO₂の削減ができたのでしょうか。木が吸収するCO₂量に換算して考えると、2015年度は約22,686本の杉の木を植樹したのと同じ効果を得られました。



拾石工場第7棟に設置した太陽光パネル



約22,686本

植樹の本数 = 発電量(kWh) × 0.02246

杉の木⇒1本あたり約14KgのCO₂を吸収

計算係数:「地球温暖化防止のための緑の吸収源対策」 環境省・林野庁を参考に計算式を算出

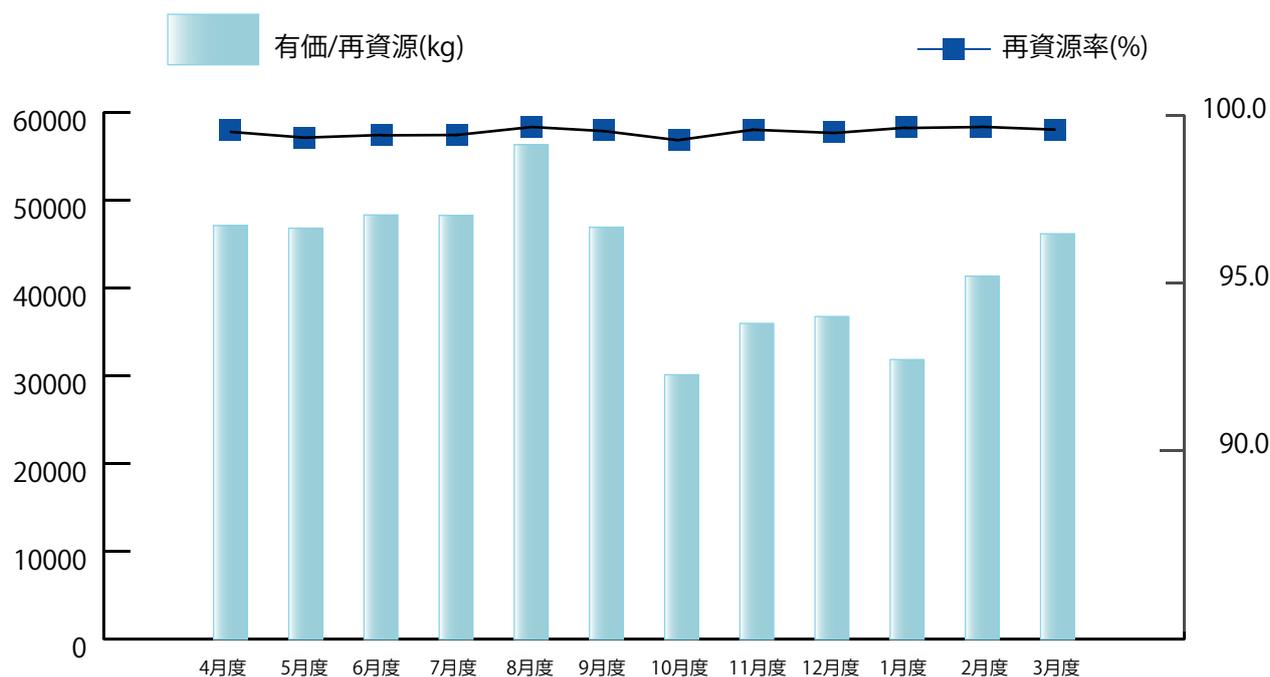
廃棄物量/PRTR法対象化学物質使用量

●廃棄物量/再資源化率の月別推移

廃棄物のゼロエミッション達成に向け、最終廃棄物の内容分析をし、再資源化率の向上を目指して全社的に活動を展開しています。2015年度も、99%以上の再資源化を通年で達成することができました。

単位：kg

	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	3月度	合計
有価/再資源	47,138	46,842	48,347	48,289	56,349	46,952	30,146	35,989	36,773	31,871	41,379	46,203	516,278
最終廃棄	119	268	233	222	91	118	233	108	141	56	64	142	1,796
合計	47,256	47,110	48,581	48,511	56,440	47,070	30,379	36,097	36,914	31,928	41,443	46,345	518,074
再資源化率	99.7%	99.4%	99.5%	99.5%	99.8%	99.7%	99.2%	99.7%	99.6%	99.8%	99.8%	99.7%	99.7%



●特別管理産業廃棄物量

2015年度は、対前年比で71.9%と排出量が減少しました。拾石工場と鶴ヶ浜工場からの排出量減少が主な要因です。

今後も最低限の廃棄物量にとどめられるよう排出量のチェックと削減努力を強化します。

	拾石工場	浜町工場	鶴ヶ浜工場	東浜工場	大沢工場	計	対前年比
排出量	58,043.5	5,974.1	16,846.0	27,163.8	1,920.0	109,947.4	71.9%

単位：kg

●PRTR法対象化学物質使用量

PRTR法(*)に基づく第一種指定化学物質の2015年度の使用量について、経済産業省への届出対象となる本社拾石工場の使用量です。

本社拾石工場：メタクリル酸ノルマル-ブチル 1,134 Kg

(昨年まで使用していた鶴ヶ浜工場HCFC-225は使用を中止しました)

*特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律

当社は、環境関連法規制への対応はもちろんのこと、環境への負荷を低減した製品の開発・製造を推進しています。2015年度には5つの環境調和型製品を発売いたしました。いずれも環境に配慮した設計により、性能や機能を向上させながらも、製品の分解性の向上および材料の再資源化を容易にし、環境への負荷低減を実現した製品です。

●2015年度に発売した環境調和型製品

グリーンレーザ光凝固装置 GYC-500

レーザの熱作用を利用して、網膜、虹彩、毛様体、または隅角光凝固術による眼疾患の治療をおこなう医療機器です。

グリーンレーザ光凝固装置GYC-500は、波長532nmの半導体レーザ励起の固体レーザ(グリーンレーザ)を治療光源とする眼科用のレーザ光凝固装置です。

搭載されているレーザは、半導体レーザを励起光源としていますので、効率良く532nmのレーザ発振が得られます。

また、デリバリは、従来の装置と同じく種々のデリバリを利用できますので、スリットランプ/ 双眼倒像鏡/ 単眼倒像鏡などを利用した経瞳孔的な光凝固および眼内プローブを用いた眼内光凝固の両者に活用できます。



オートレフケラト/トノ/パキメータ TONOREF® III

被検眼の他覚屈折度測定、角膜曲率半径、角膜厚および眼圧測定をおこなう装置です。4つの主要な測定機能を1つの装置に搭載し、患者様・検者様に快適な検査をご提供します。

測定機能の集約により、装置間の移動をなくし、スピーディーな測定や省スペース化を実現しています。

3Dオートトラッキング&オート測定により精度の高いデータ取得が可能です。7.0インチタッチパネル搭載カラーLCDモニター(チルト機構付き)を搭載しています。無線LANで、測定データを直接パソコンや対応周辺機器へ送ることが可能です。



パターンレスエッジャー LE-1200

トレーサーまたはコンピューターからの玉型データをもとに、レンズをメガネフレームに合わせて加工することを目的とした装置です。

特長

- ・溝の浅いフレームへ枠入れした際の見栄えを向上
- ・ハイスピード加工(新型ダイレクトドライブモーター & 最適加工圧システム)
- ・自動溝堀り & 自動面取り機能
- ・簡易玉型変形機能



●2015年度に発売した環境調和型製品

パターンレスエッジャー LEX-1200

トレーサーまたはコンピューターからの玉型データをもとに、レンズをメガネフレームに合わせて加工することを使用目的とした装置です。

特長

- ・ハイカーブヤゲン加工専用砥石 & 専用モード搭載
- ・ヤゲン後面のステップ加工により、ハイカーブフレームへの対応を強化(セミステップ加工)
- ・特殊な形状ヤゲン加工に対応(カスタムヤゲン)
- ・自動溝堀り & 自動面取り機能搭載
- ・玉型変形機能搭載



インテリジェントブロッカー ICE-1200

レンズに加工用のレンズカップを取り付ける(軸打ちする)ことを使用目的とした装置です。

レンズの光学中心、乱視軸角度、二重焦点レンズの小玉位置、印点、累進レンズのプリントマーク位置/角度などを検出して正しい位置にレンズカップを軸打ちします。



製品の環境調和専門部会からのメッセージ

環境調和型製品の創出においては、製品のライフサイクル全体から環境負荷を把握し、さまざまな角度からの改善を進めています。

環境負荷低減は「製品アセスメント実施規程」を基に、企画・設計段階から負荷低減を考えた活動が重要と位置づけ、開発部門や製造部門、並びにサプライチェーンと連携し、積極的な改善に取り組んでいます。

具体的には、再資源化が容易な製品材料の選択、製品の分解を容易にするための部品点数やネジの数の減少、包装資材の省資源化、製品廃棄時における廃棄手順書の提供などです。また、欧州規制 (RoHS、WEEE) や中国RoHSへも適合しています。

今後も環境調和型製品の開発を推進し続けることにより、地球環境の負荷低減に努めていきます。

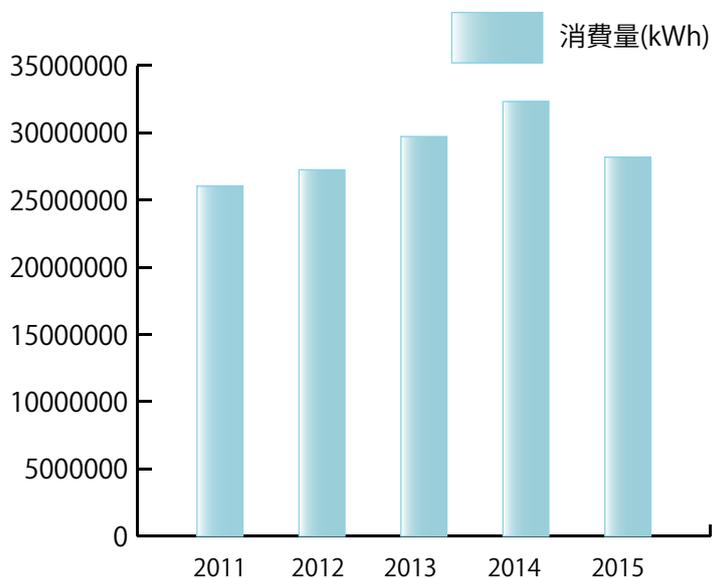
製品の環境調和専門部会
部会長 嶋崎 寛 (品質保証部 部長)

電力/重油

●電力消費量

各工場における継続的な省エネ活動の成果が表れ、電力消費量を削減することが出来ました。

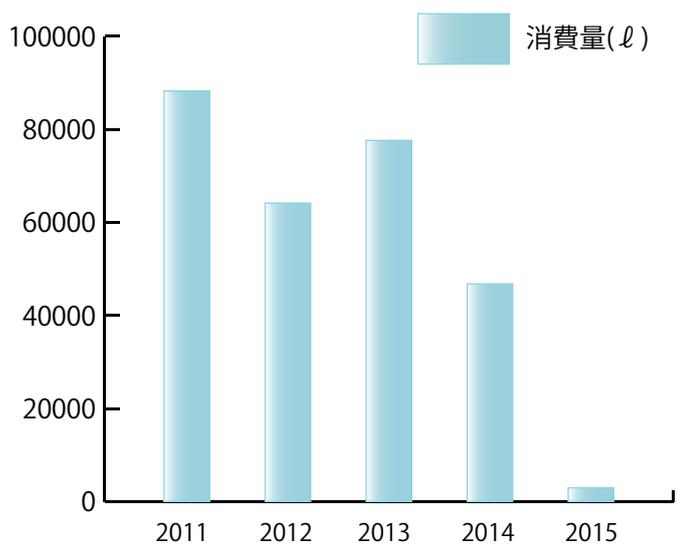
年度	消費量 (kWh)
2011	26,030,508
2012	27,249,207
2013	29,723,670
2014	32,320,445
2015	28,189,983



●重油消費量

当社は、重油を電力ピーク補填用発電に使用しています。昨年度は、夏場の電力ピーク調整と生産調整などにより重油消費量を大幅に削減することが出来ました。

年度	消費量 (ℓ)
2011	88,222
2012	64,136
2013	77,599
2014	46,777
2015	2,959

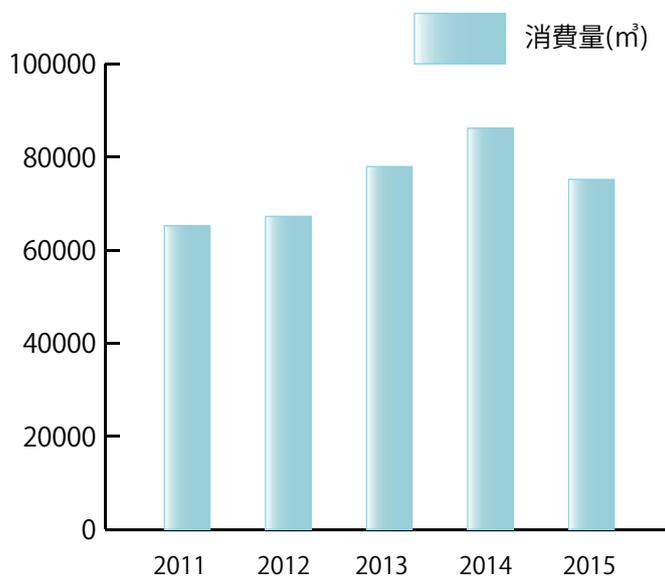


市水/最終廃棄物

●市水消費量

コーティング事業の工場における洗浄工程での効率性向上による節水成果が着実に表れており、市水消費量が減少しました。

年度	消費量 (m ³)
2011	65,203
2012	67,232
2013	77,927
2014	86,150
2015	75,170

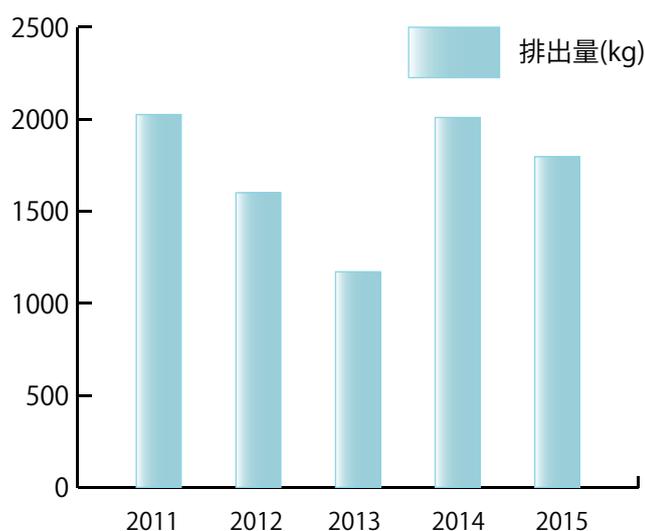


●最終廃棄物排出量

廃棄物のゼロエミッション達成に向け、最終廃棄物の内容分析をし、再資源化率の向上を目指して全社的に活動を展開しています。

2014年度も、99%以上の再資源化を通年で達成することができました。

年度	消費量 (kg)
2011	2,025
2012	1,600
2013	1,171
2014	2,009
2015	1,796



当社のゼロエミッション

当社の「ゼロエミッション」とは、「工場からの廃棄物総排出量の有価/再資源化率を99%以上」とする。

有価/再資源化率は、「(総排出量 - 最終廃棄物) ÷ 総排出量」で算出する。

当社では、環境活動以外にも、CSR(企業の社会的責任)の観点から、本業を通じ、また当社でできる活動である地域の美化活動などの環境保全活動や、各種の社会貢献活動に取り組んでいます。2015年度に当社が実施した活動の一部をご紹介します。

●エコキャップの回収

2009年から継続してエコキャップの回収に取り組んでいます。2015年度は、全社で201,326個のキャップ(ワクチンにして約250名分)が集まりました。今後も、この活動に継続して取り組みます。



●クリーンキャンペーンへの参加

年に2回の蒲郡市のクリーンキャンペーンに合わせ、各工場の周りを清掃する活動に継続的に参加しています。また、ニデック・フィッシングクラブも、15年間連続で蒲郡市のクリーンキャンペーンでの清掃活動にボランティアとして参加しており、定期的な活動として定着しています。



●日本点字図書館への寄附

当社の有志による日本点字図書館への寄附活動も、定期的な活動として定着しています。2015年度は、視覚障害者の方のための音声ブックと日本点字図書館の運営費用として寄附をおこないました。



写真: 点字図書とCD図書

●使用済み切手の回収と寄贈

2015年度使用済み切手を回収し、社会福祉法人視覚障害者支援総合センターへ寄贈しました。



●会社見学を実施

インターンシップの受け入れや、市内の小中高生に向けた会社見学、地域・企業の方々を対象とした会社見学で、展示室やものづくりの現場を見学いただいています。本取り組みを通じ、地域の方々とのコミュニケーションを図っています。



●愛知県内の小学校にて出前授業「眼を大切に」を実施

地域貢献の一環として、目について興味を持っていただけるよう、小中学校向けの講演活動を実施しております。“盲点”を探す体験や、自身の“利き目”を確認し、眼の構造や「近視」、「遠視」、「乱視」などを紹介しました。また、睡眠の質を高めるために、スマートフォンや携帯ゲーム機との付き合い方など生活習慣の改善を促しました。



名称	株式会社ニデック
本社	〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34番地14 Tel. 0533-67-6611
代表者	代表取締役社長 小澤素生
設立	1971年7月7日（創業日8月8日）
資本金	4億6189万円
売上高	314.8億円（2011年度） 335.3億円（2012年度） 372.7億円（2013年度） 402.4億円（2014年度） 393.3億円（2015年度）
従業員数	1,627名（2016年3月末日現在）

●事業内容



医療分野

眼科向け手術装置、レーザ機器、検査診断装置などの開発・製造・販売を総合的におこなっています。近年では、事業の場を健診分野にも広がっています。



眼鏡機器分野

視力測定、レンズ測定、レンズ加工など眼鏡づくりに関わる製品を提供しています。

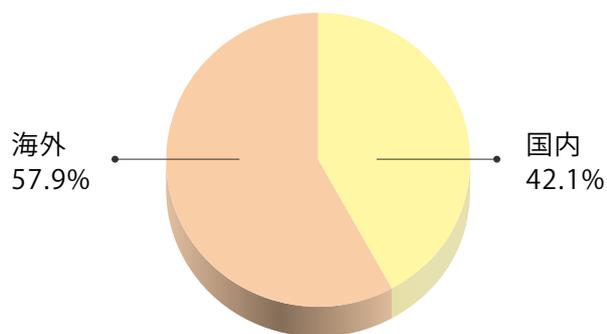


コーティング分野

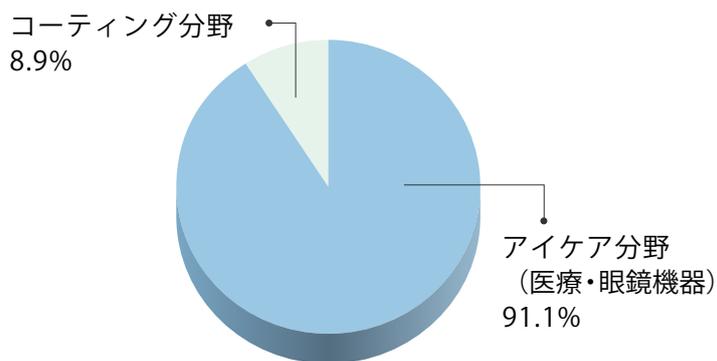
コーティングは、光学材料などへの反射防止や、特定波長だけを透過・反射させる“光を操る先端技術”です。メガネレンズをはじめ、情報通信・自動車・医療・液晶ディスプレイなど、多彩な分野で活用しています。

●2015年度売上比率データ

海外輸出比率



売上構成比率



●本社(拾石工場)



住所 〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜34番地14
環境管理責任者 総務部 部長 近藤雅人
敷地面積 29,969 m²
建物(延) 16,644 m²
従業員数 733名
設置 1976年(昭和51年)

●東浜工場



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町73番地1
環境管理責任者 コート生産部 部長 石井雅敏
敷地面積 13,155 m²
建物(延) 8,195 m²
従業員数 56名
設置 1996年(平成8年)

●浜町工場



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町67番地4
環境管理責任者 機器製造部 部長 加藤真吾
敷地面積 22,200 m²
建物(延) 13,327 m²
従業員数 316名
設置 1984年(昭和59年)

●大沢工場



住所 〒443-0104 愛知県蒲郡市形原町大沢27番地4
環境管理責任者 コート事業企画室 室長 柴田芳宏
敷地面積 57,396 m²
建物(延) 11,032 m²
従業員数 109名
設置 2000年(平成12年)

●鶴ヶ浜工場



住所 〒443-0036 愛知県蒲郡市浜町23番地1
環境管理責任者 部品製造部 部長 植村克彦
敷地面積 14,820 m²
建物(延) 6,871 m²
従業員数 92名
設置 1989年(平成元年)

敷地面積、建物(延)、従業員数：2016年3月31日時点
従業員数：本頁では役員、顧問、嘱託/パートを含む

●報告書基本情報

報告対象組織：株式会社ニデック

本社(拾石工場)
浜町工場(研究棟除く)
鶴ヶ浜工場
東浜工場
大沢工場

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

発行日：2016年7月27日

作成部署：環境社会貢献部会/企画部 広報課

●お問い合わせ先

企画部 広報課

Tel: 0533-67-6753

Fax: 0533-67-6610

E-mail: info@nidek.co.jp

※ 当社に関する詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。
URL <http://www.nidek.co.jp>

